
千葉県 の 職業能力開発 の 推進 に 係る アンケート調査

【報告書】

令和 3 年 7 月

千葉県

第1部 調査実施の概要

1 調査目的

平成28年度に策定した「千葉県産業人材育成中期計画」を改定し、新たな計画の策定に向け、県内の雇用状況や教育訓練の状況、職業能力開発に関する意見などの基礎的な資料を得ることを目的として実施した。

2 調査設計及び回収状況等

調査は、「事業所」、「高校生」、「高等学校進路指導担当教員」を対象に、それぞれ調査票を分けて実施した。

(1) 事業所調査

対 象	5, 398事業所 (内訳) ・高等技術専門校の修了生の採用や募集をした事業所 406事業所 各高等技術専門校の訓練科毎に概ね20事業所を選定 ・千葉県内の雇用保険被保険者数10名以上の事業所のうち、以下に記載する日本標準産業分類に掲げる中分類に該当する事業所 4, 992事業所 <日本標準産業分類に掲げる中分類> 「01農業」、「06総合工事業」、「07職別工事業（設備工事業を除く）」、「08設備工事業」、「24金属製品製造業」、「25はん用機械器具製造業」、「26生産用機械器具製造業」、「29電気機械器具製造業」、「31輸送用器具製造業」、「32その他の製造業」、「39情報サービス業」、「59機械器具小売業」、「74技術サービス業」、「89自動車整備業」、「92その他の事業サービス業」
方 法	ちば電子申請サービスによる回答（対象事業所にあらかじめ調査票を郵送）
期 間	令和3年4月5日（月）～4月23日（金）
有効回答数	834社

(2) 高校生調査

対 象	県立高等学校（全日制）2年生 想定6, 640人 ・各県立高等学校（全日制）119校の2年生1学級を対象 166学級 (複数課程の設置がある校は、課程ごとに1学級)
方 法	ちば電子申請サービスによる回答（進路指導担当教員を通じて依頼）
期 間	令和3年5月6日（木）～5月20日（木）
有効回答数	3, 854人

(3)進路指導担当教員調査

対 象	県立高等学校（全日制）進路指導担当教員 想定 1 1 9 人
方 法	ちば電子申請サービスによる回答
期 間	令和3年5月25日（火）～5月31日（月）
有効回答数	1 2 5 人

3 報告書の見方

- (1) 図表中の n（number of cases の略）とは、回答事業所数及び回答者数のことである。
- (2) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答事業所数及び回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0% を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している。

第2部 調査結果

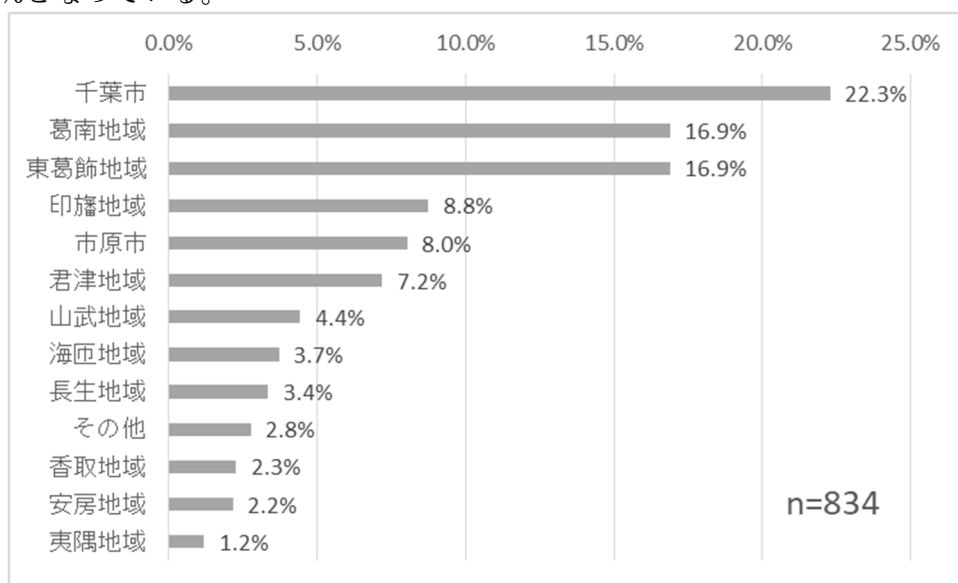
第1章 事業所調査

1 貴事業所の概要について

(1) 企業の概要

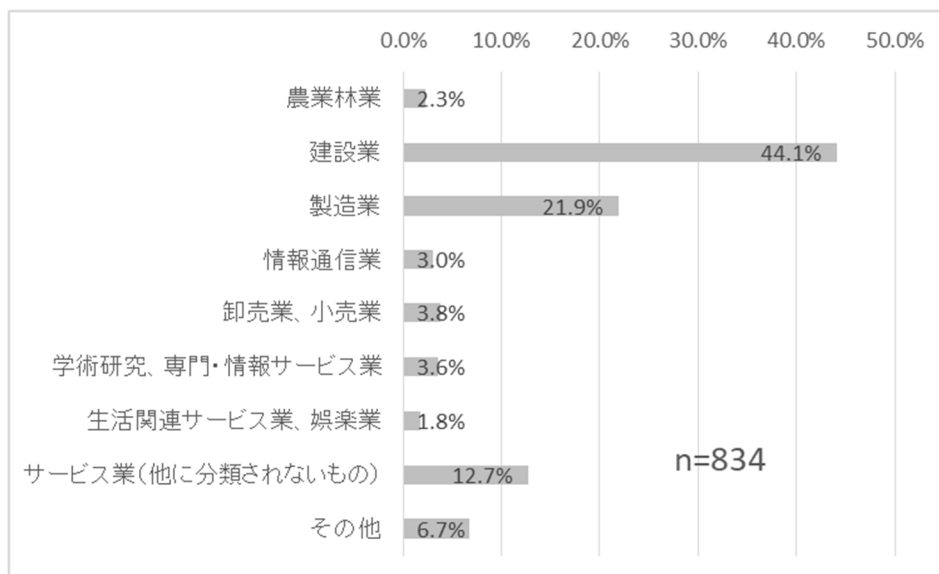
問1 貴事業所の概要を御記入ください。

回答した事業所の所在地は、「千葉市」が22.3%で最も高く、次いで「葛南地域」、「東葛飾地域」が16.9%となっている。



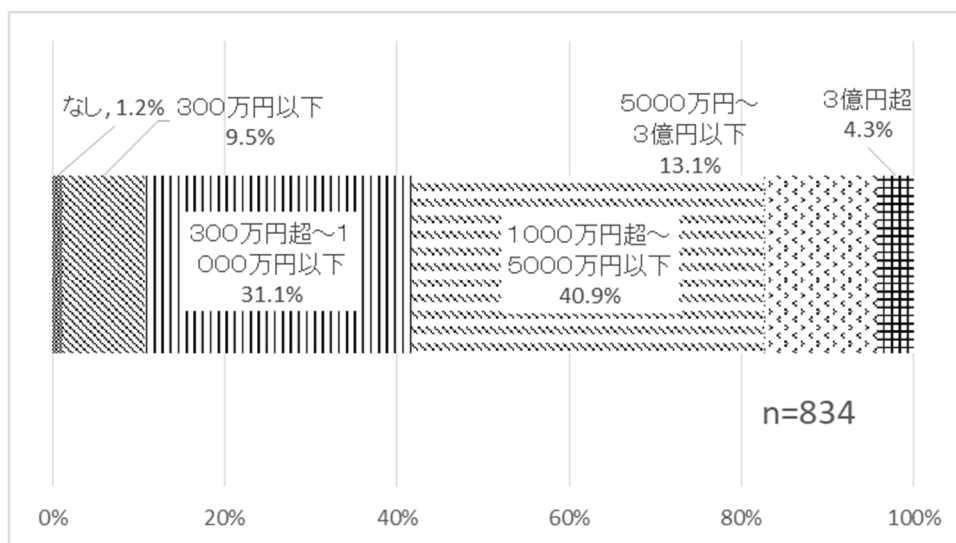
問2 貴事業所の産業分類は何ですか。

回答した事業所の産業分類は、「建設業」が44.1%で最も高く、次いで「製造業」が21.9%となっている。



問3 貴社（本社・本店、支社・支店を含めた企業全体）の資本金についてお答えください。

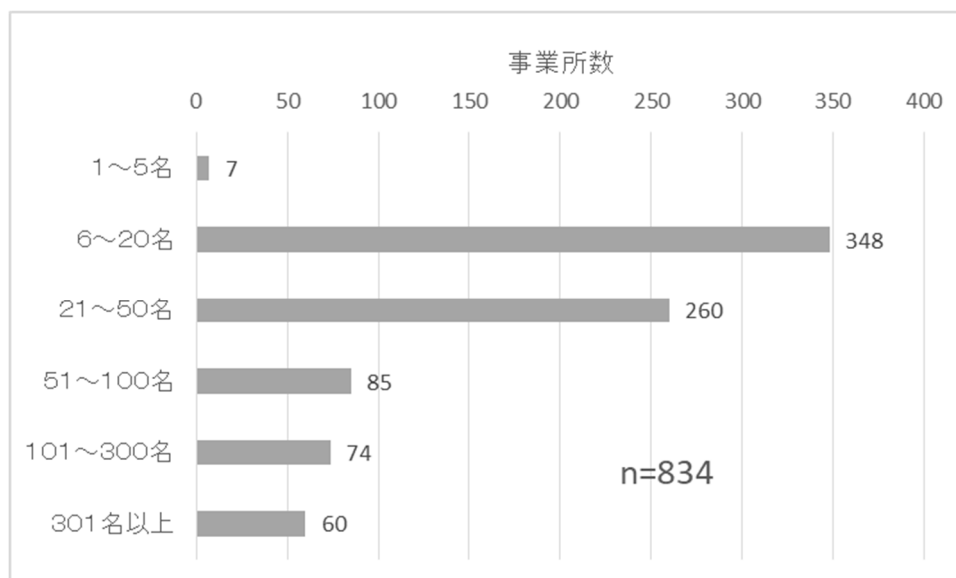
回答した事業所の資本金は、「1,000万円超～5,000万円」が40.9%で最も高く、次いで「300万円超～1,000万円」が31.1%となっている。



2 雇用状況について

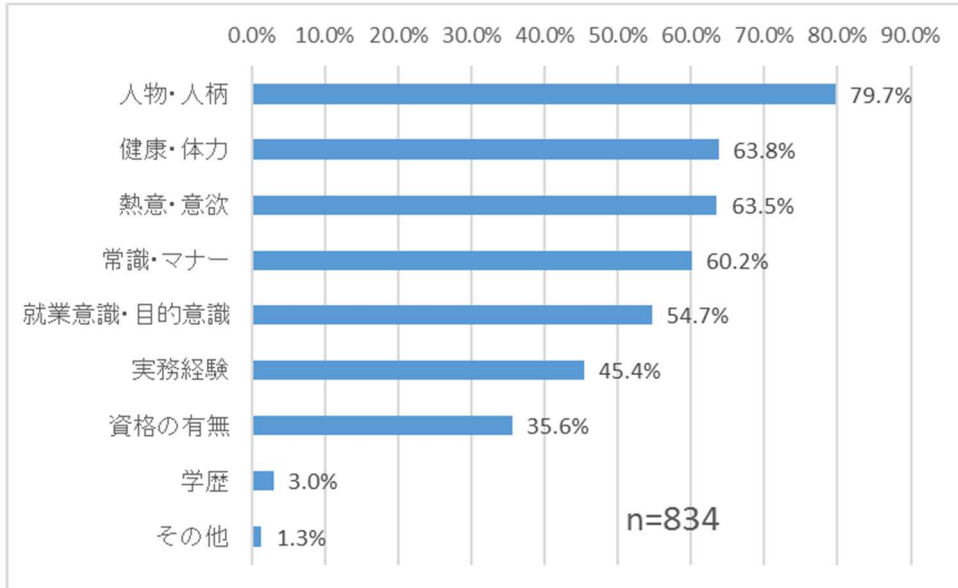
問4 貴社（本社・本店、支社・支店を含めた企業全体）の正規労働者数をお答えください。

回答した事業所の正規労働者数は「6～20名」が348所で最も高く、次いで「21～50名」が260所となった。



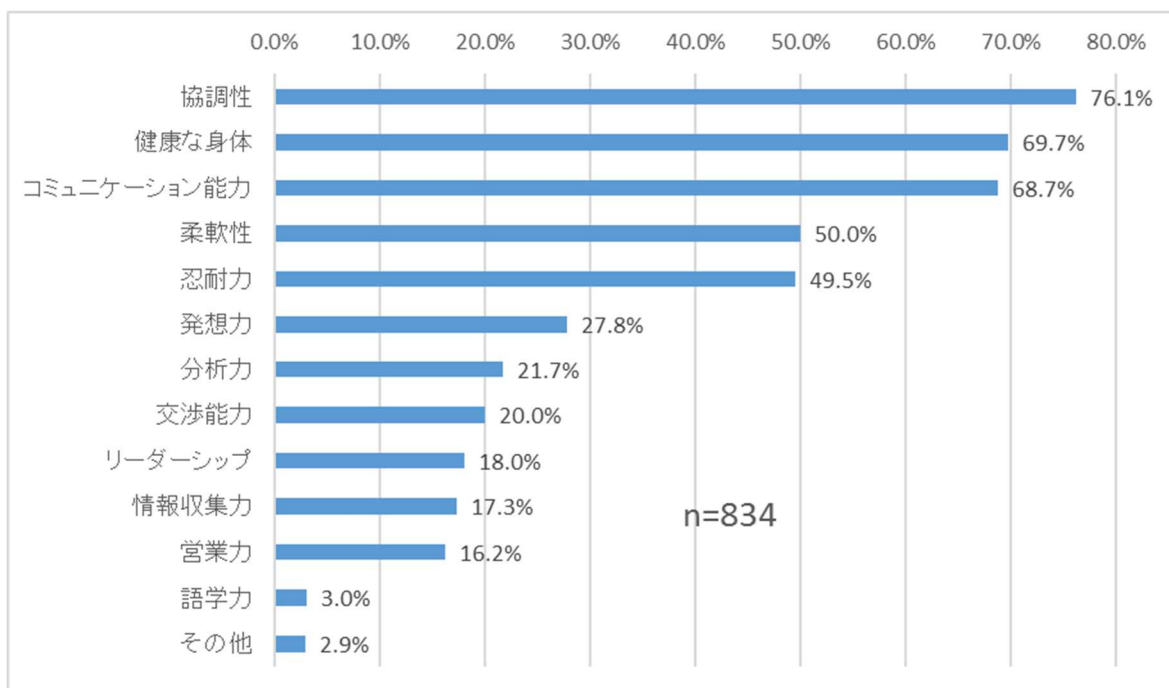
問5 貴事業所が従業員を雇用するにあたって重視することは何ですか。【複数回答可】

従業員を雇用するにあたって重視することは、「人物・人柄」が79.7%で最も高く、以下「健康・体力」が63.8%、「熱意・意欲」が63.5%、「常識・マナー」が60.2%、「就業意識・目的意識」が54.7%、と続いている。



問6 貴事業所が求める人材に必要な能力は何ですか。【複数回答可】

求める人材に必要な能力は、「協調性」が76.1%で最も高く、以下「健康な身体」が69.7%、「コミュニケーション能力」が68.7%、「柔軟性」が50.0%、「忍耐力」が49.5%、と続いている。



問7 貴事業所での採用の際に参考としている資格及び等級 【上位3資格の回答】

採用の際に参考としている資格について優先度の高い上位3資格を記入いただいたところ、合計1,415件の資格等の回答があった。その上位20の資格等（等級等を除いたもの）を抜粋して掲載すると、次のとおりとなっている。

	資格名等	回答数
1	土木施工管理技士	137
2	普通自動車第一種運転免許	90
3	電気工事士	87
4	玉掛け技能講習	81
5	建築施工管理技士	65
6	管工事施工管理技士	56
7	自動車整備士	48
8	建築士	46
9	フォークリフト運転技能講習	42
10	情報処理技術者	31
11	電気工事施工管理技士	28
12	車両系建設機械運転技能講習	25
13	造園施工管理技士	24
14	施工管理技士	23
15	クレーン・デリック運転士免許	21
16	ガス溶接技能講習	16
17	中型自動車第一種運転免許	15
17	交通誘導警備業務検定	15
19	測量士	14
19	職長・安全衛生責任者教育	14

問8 今後、業界で必要となる資格 【複数回答可】

今後、業界で必要となる資格について自由に記入いただいたところ、合計 475 件の資格等の回答があった。その上位 20 の資格等（等級等を除いたもの）を抜粋して掲載すると、次のとおりとなっている。

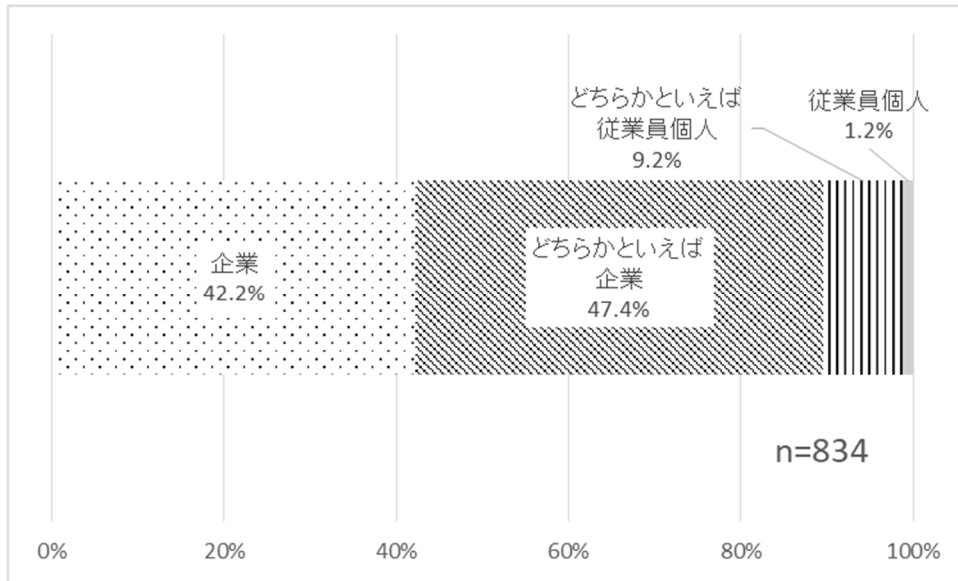
	資格名等	回答数
1	土木施工管理技士	36
2	建築施工管理技士	26
3	管工事施工管理技士	20
3	電気工事士	20
5	施工管理技士	15
6	玉掛け技能講習	12
6	建築士	12
6	情報処理技術者	12
9	電気施工管理技士	10
10	クレーン・デリック運転士免許	8
10	技術士	8
10	電気主任技術者	8
13	溶接関連資格	7
14	CAD(3次元含む)	6
14	フォークリフト運転技能講習	6
16	フルハーネス型墜落制止用器具取扱特別教育	5
16	高所作業車運転技能講習	5
16	自動車整備士	5
16	情報セキュリティ関係	5
16	職長・安全衛生責任者教育	5
16	造園施工管理技士	5

3 従業員等の確保・教育訓練などについて

問9 貴事業所では、教育訓練（人材育成）に対する責任はどのように考えますか。

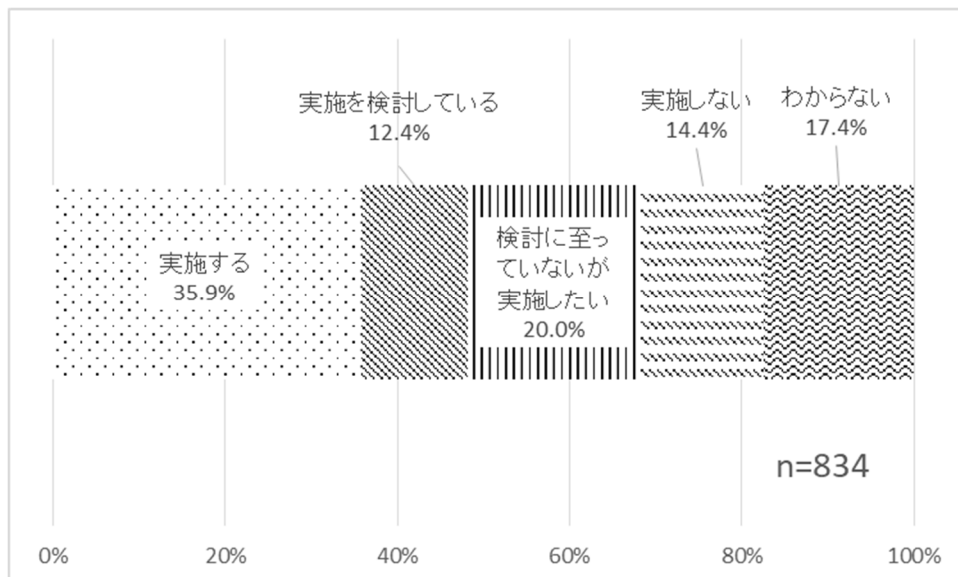
教育訓練（人材育成）に対する責任の考えについては、「どちらかといえば企業」が47.4%で最も高く、次いで「企業」が42.2%となっており、これらを合わせた《企業が実施すべき》が89.6%となる。

一方、「どちらかといえば従業員個人」（9.2%）と「従業員個人」（1.2%）を合わせた《従業員個人》は10.4%となっている。



問10-1 貴事業所では、今後OFF-JT（通常の仕事を一時的に離れて行う教育訓練（研修含む））を実施しますか。

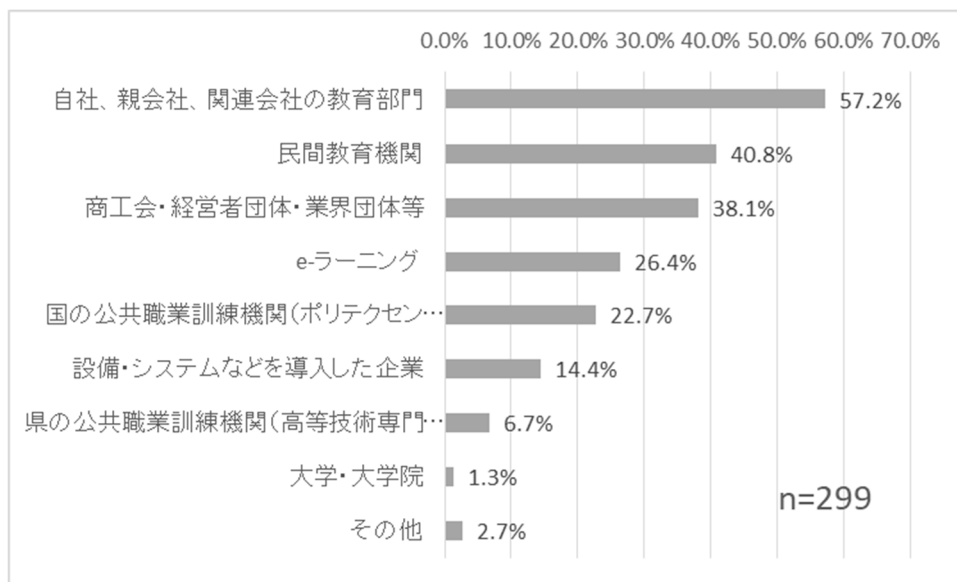
OFF-JTの実施については、「実施する」が35.9%で最も高く、次いで「検討に至っていないが実施したい」が20.0%、「実施を検討している」が12.4%で、《実施に前向き》が68.3%であった。一方、「実施しない」が14.4%であった。



問10-2 貴事業所で利用している、もしくは利用したいOFF-JT機関は何ですか。

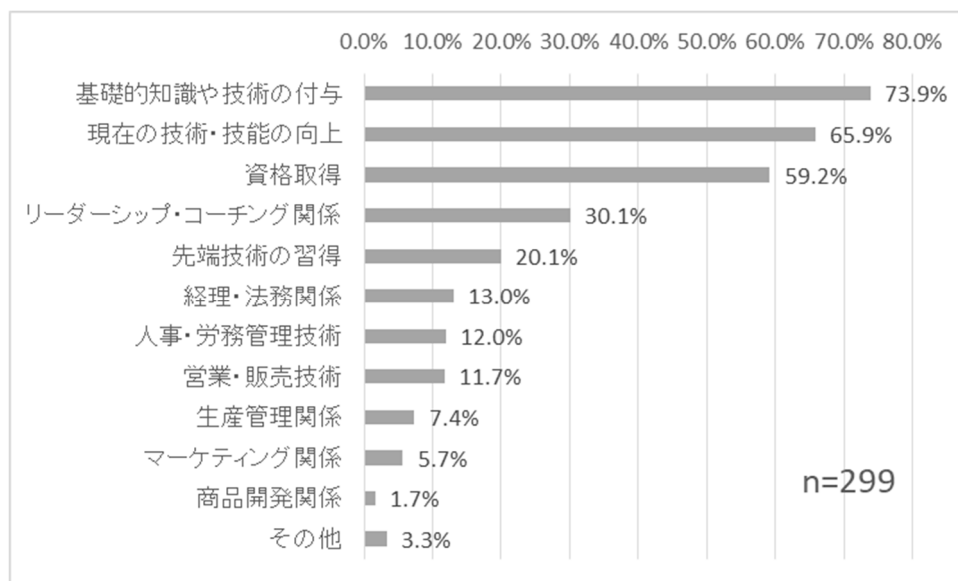
【複数回答可】

問10-1でOFF-JTを「実施する」と回答した事業所に、利用しているOFF-JT機関をたずねたところ、OFF-JTの利用機関については、「自社、親会社、関連会社の教育部門」が57.2%で最も高く、次いで「民間教育機関」、「商工会・経営者団体・業界団体等」となった。



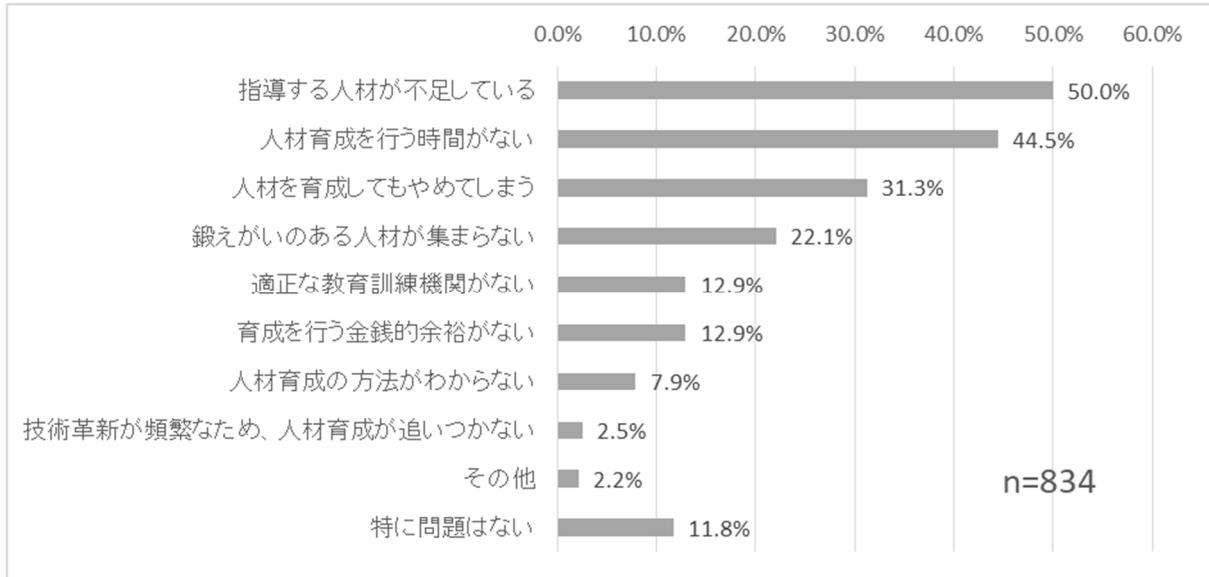
問10-3 OFF-JTの教育訓練内容 【複数回答可】

問10-1でOFF-JTを「実施する」と回答した事業所に、OFF-JTの教育訓練内容をたずねたところ、「基礎的知識や技術の付与」が73.9%で最も高く、以下、「現在の技術・技能の向上」65.9%、「資格取得」59.2%、「リーダーシップ・コーチング関係」30.1%となっている。



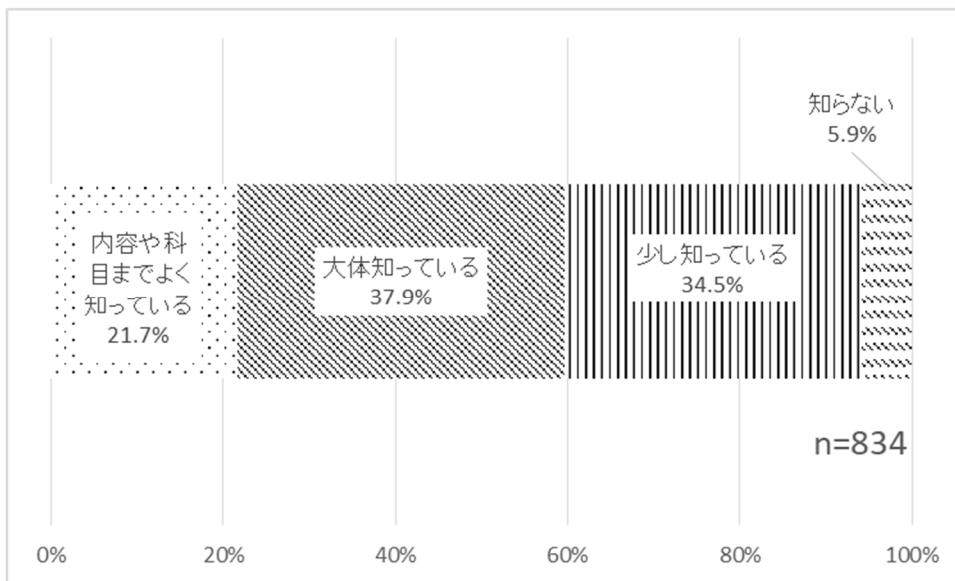
問 1 1 能力開発や人材育成を行う際の問題点 【複数回答可】

能力開発や人材育成を行う際の問題点は、「指導する人材が不足している」が50.0%で最も高く、以下、「人材育成を行う時間がない」44.5%、「人材を育成しても辞めてしまう」31.3%、「鍛えがいのある人材が集まらない」(22.1%)と続いている。



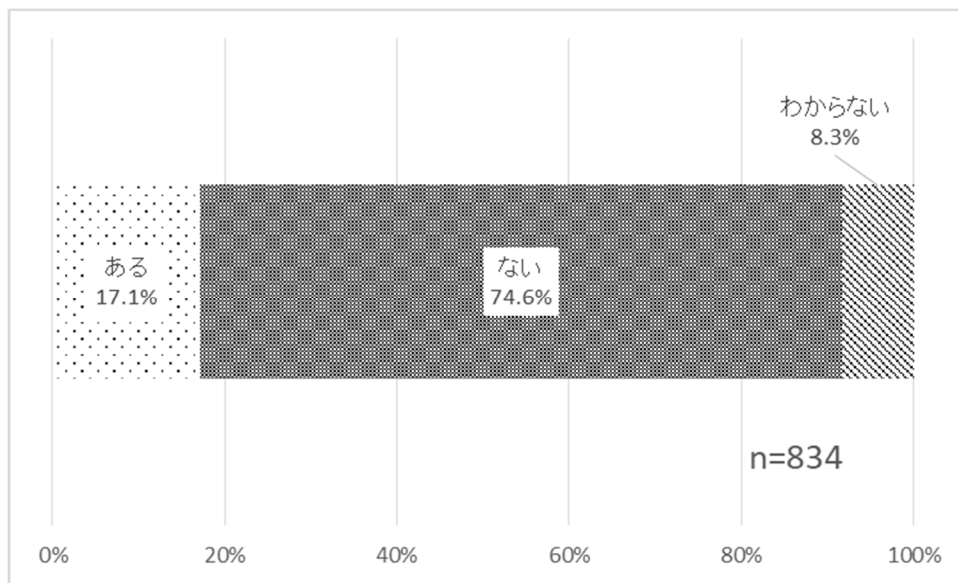
問 1 2 高等技術専門校では、新規学卒者及び離転職者に対し職業の能力開発を行っています。このことをご存じですか。

高等技術専門校の認知度は、「内容や科目までよく知っている」が21.7%、「大体知っている」(37.9%)と「少し知っている」(34.5%)を合わせた《知っている》は、94.1%となる。一方、「知らない」は5.9%となっている。



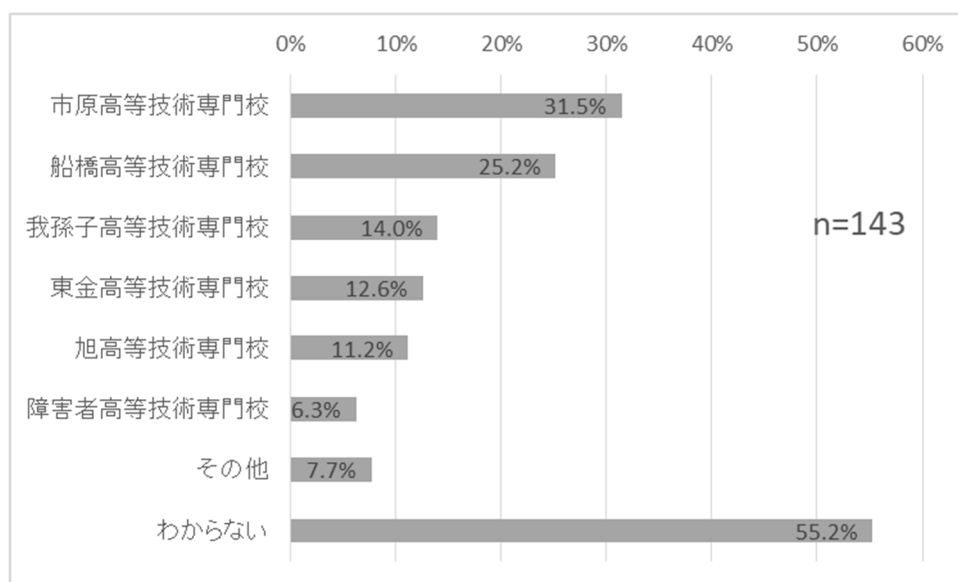
問13-1 高等技術専門校の修了生を雇用したことがありますか。(直近10年間程度)

直近10年間の雇用実績は、「ある」が17.1%で、「ない」が74.6%となっている。



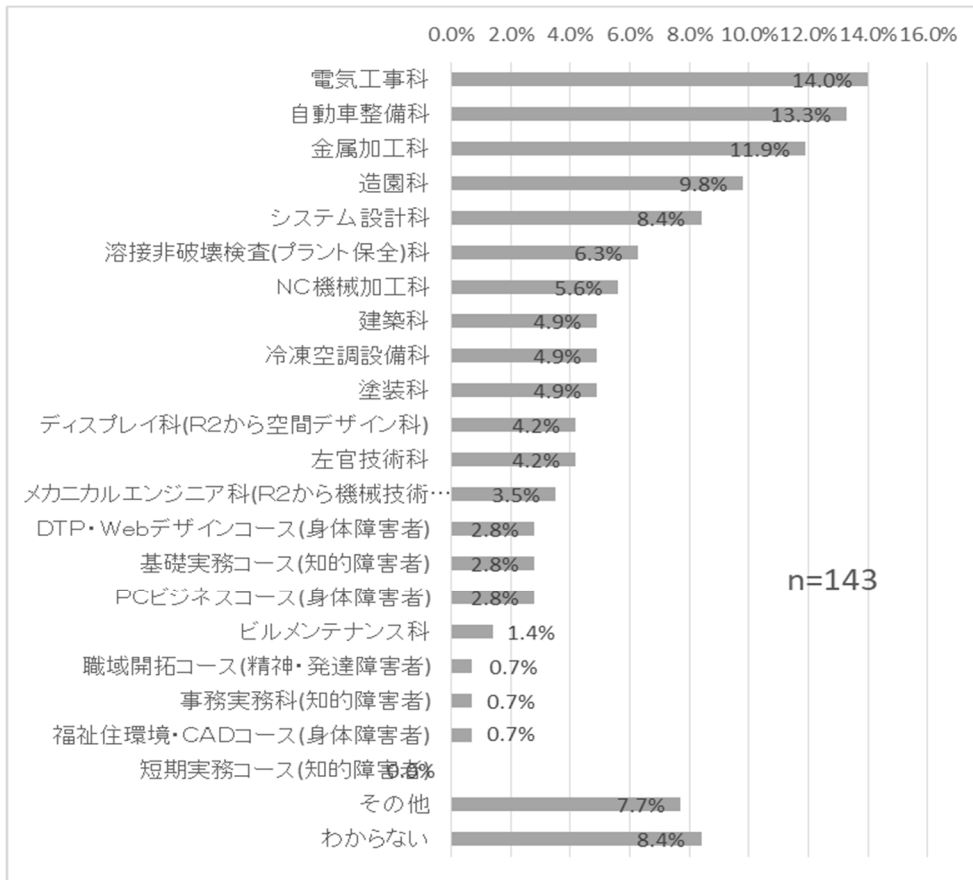
問13-2 採用実績のある校名 【複数回答可】

問13-1で修了生の雇用実績が「ある」と回答した事業所に、採用実績のある校名をたずねたところ、「市原高等技術専門校」が31.5%、次いで「船橋高等技術専門校」25.2%となっている。



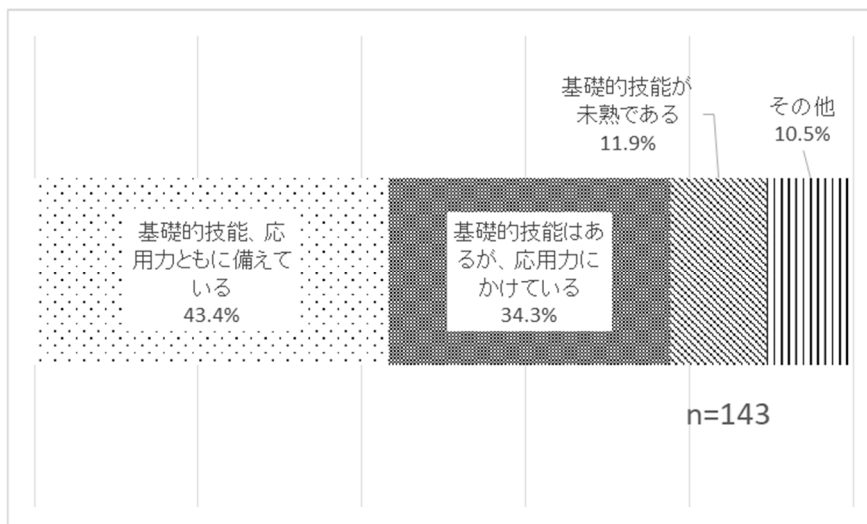
問13-3 採用実績のある訓練科 【複数回答可】

問13-1で修了生の雇用実績が「ある」と回答した事業所に、採用実績のある訓練科をたずねたところ、「電気工事科」が14.0%、次いで「自動車整備科」13.3%となっている



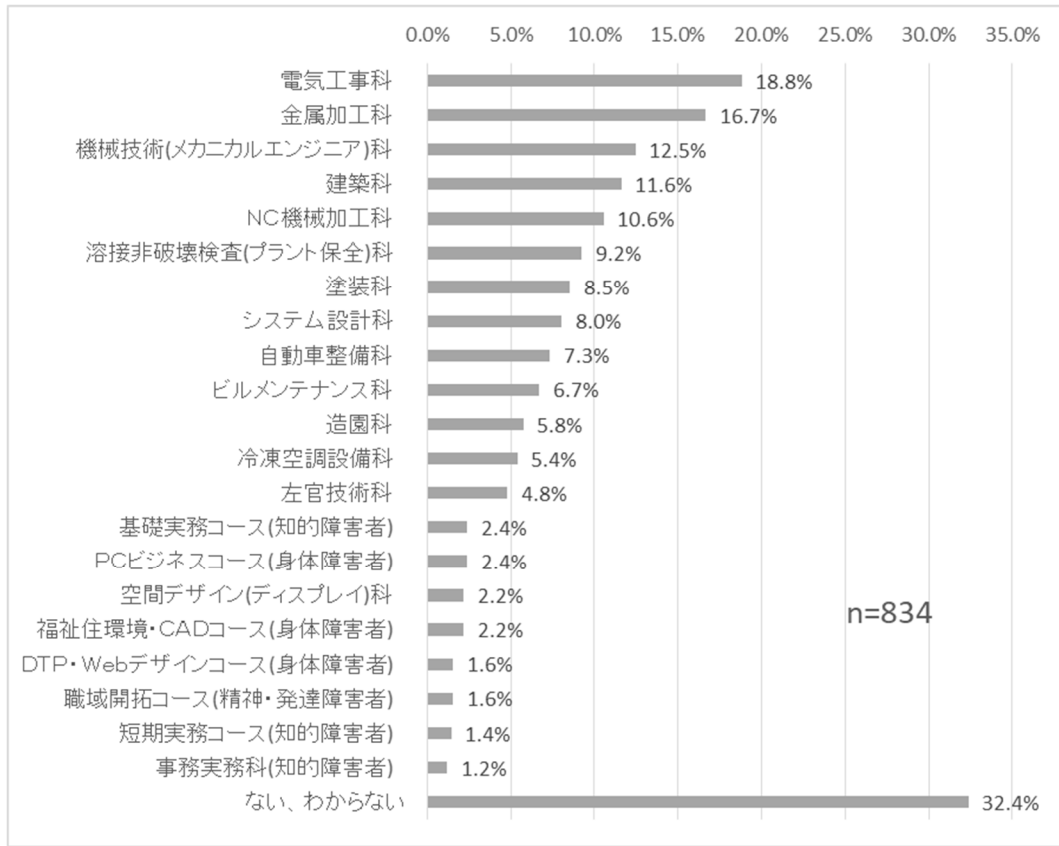
問13-4 高等技術専門校の修了生に対して、どのように思われますか。

問13-1で修了生の雇用実績が「ある」と回答した事業所に、採用した修了生についてたずねたところ、「基礎的技能、応用力ともに備えている」が43.4%で最も高くなっている。次いで、「基礎的技能はあるが、応用力に欠ける」が34.3%となっている。一方、「基礎的技能が未熟である」は11.9%となっている。



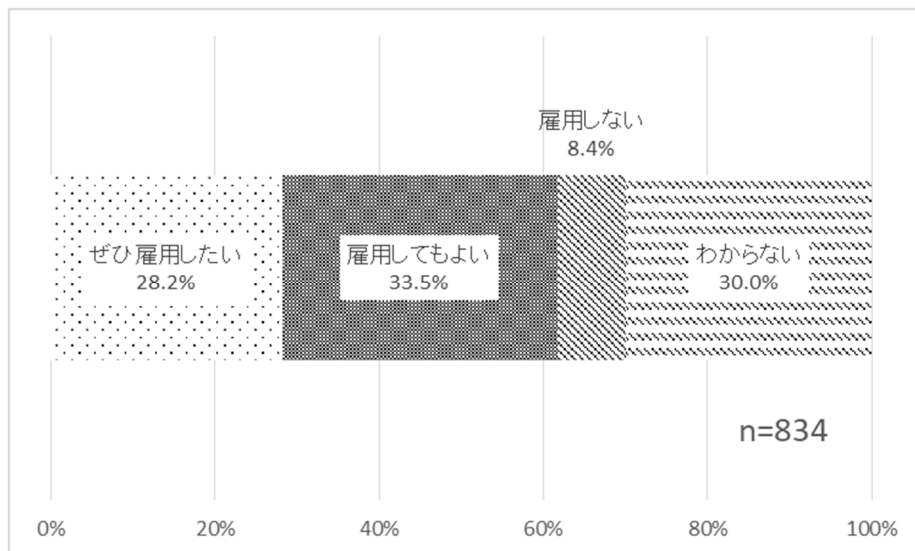
問 1 4 貴事業所の業務に関連した訓練科 【複数回答可】

事業所の業務に関連すると思われる高等技術専門校の訓練科は、「電気工事科」が18.8%で最も高く、以下「金属加工科」16.7%、「機械技術科」12.5%、「建築科」(11.6%)、「NC機械加工科」(10.6%)となっている。



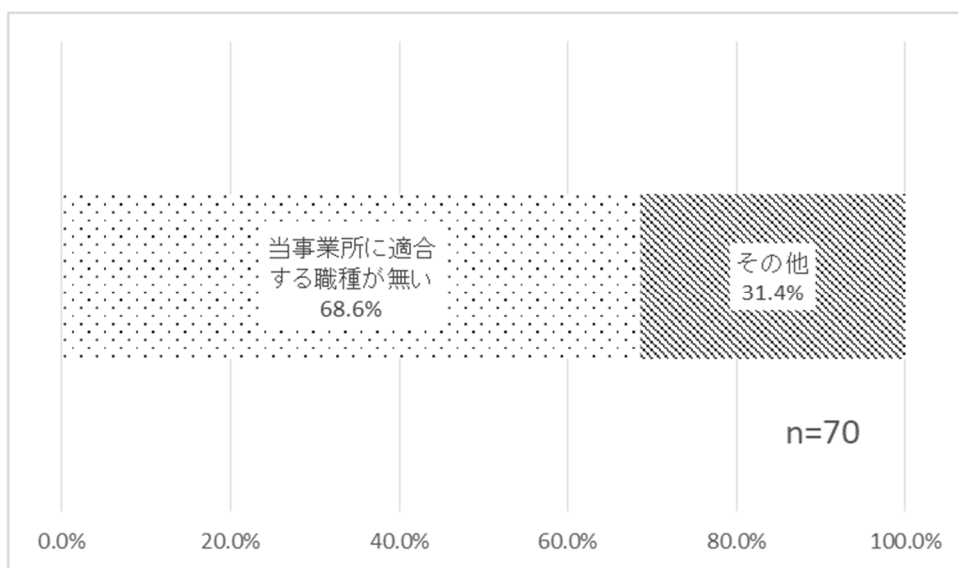
問 1 5 - 1 高等技術専門校では、様々な職種に対する職業訓練を実施しています。今後、高等技術専門校の修了生を雇用しようと思いませんか

高等技術専門校の修了生の雇用意欲については、「ぜひ雇用したい」が28.2%と「雇用してもよい」33.5%を合わせた《雇用したい》は、61.7%となる。一方、「雇用しない」は8.4%となっている。



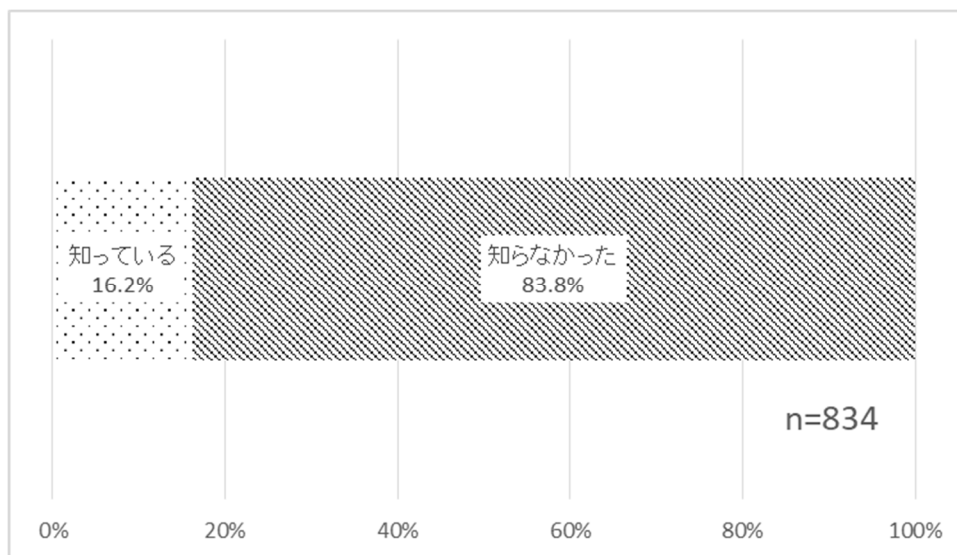
問15-2 「雇用しない」と回答された、その理由はどれですか。

問15-1で修了生の雇用について「雇用しない」と回答した事業所に、その理由をたずねたところ、「当事業所に適合する職種が無い」が68.6%となった。



問16-1 高等技術専門校では、「ガス溶接技能講習会」「技能検定受験対策」などの在職者向けの短期講習「ちば企業人スキルアップセミナー」を実施しています。この事業を知っていましたか

高等技術専門校で実施している在職者訓練の認知度については、「知っている」が16.2%であった。一方、「知らなかった」は83.8%となっている



問16-2 貴事業所では、どのようなセミナーがあれば利用したいと思いますか。

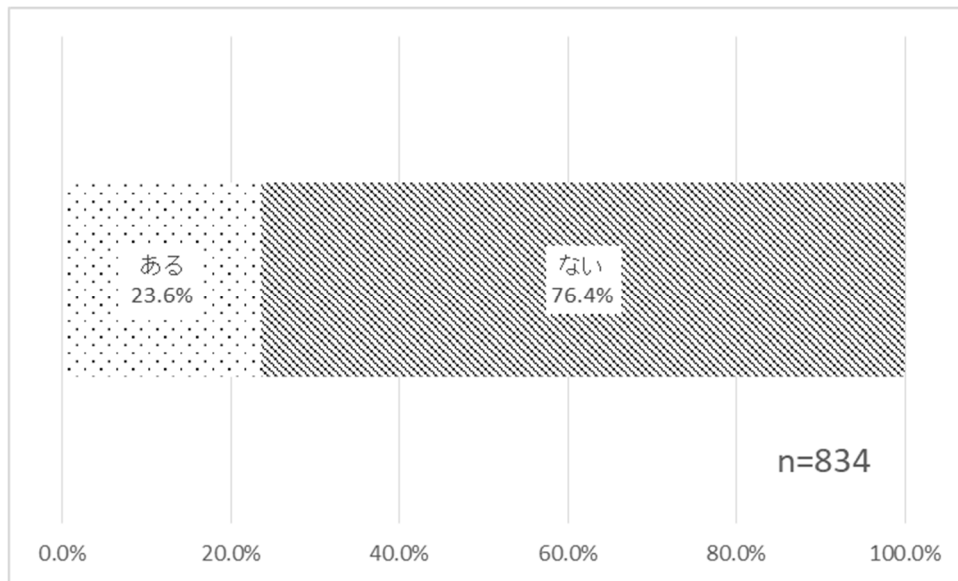
別紙「2021年度ちば企業人スキルアップセミナー」をご参考にお答えください。

利用したいセミナーについて、合計282件のセミナー等の回答があった。まず、その上位20のセミナー等を抜粋して掲載すると、次のとおりとなっている。

	資格名等	回答数
1	アーク溶接特別教育	15
2	第二種電気工事士	14
3	ガス溶接技能講習	11
4	AutoCAD	9
5	CAD	7
5	プレス機械作業主任者技能講習	7
7	Excel	6
7	ビジネスマナー	6
7	情報系	6
7	土木施工管理技士	6
11	建築施工管理技士	5
12	NC旋盤プログラミング	4
12	Python(基礎・応用)	4
12	機械製図	4
12	職長・安全衛生責任者教育	4
12	設備系	4
12	土木系	4
18	パソコンスキルの向上	3
18	空調設備	3
18	資格取得	3
18	造園のためのJw_cad基礎	3
18	電気系	3

問17 貴事業所では、平成28年度から現在までの間に、障害のある方の採用実績または採用予定はありますか。

障害のある方の採用実績については、「ある」が23.6%、「ない」が76.4%であった。



※掲載は回答順。

- ・ ぜひとも、もっとネット等でPRしていただきたい
- ・ これからの建設業を担ってくれる若い人材を必要としていますので、県立高校技術専門校の修了生との交流が今後実現させていけたらと思います。
- ・ インターネットが栄えてるこのご時世、インターネット関連の職業訓練があってもよいと思う
- ・ 職業訓練を実施するにあたり、基礎編と応用編を明確にすることは必要であると思います。熟練作業者が応用編を受講して基礎からでは時間の無駄となり得るからです。短時間で技術を習得することは難しいのではないのでしょうか？訓練期間長くするなどの対処は必要と思います。
- ・ 実務レベルの職業訓練があればよいと思います。
- ・ 事務所が工場の2階部分にある等、設備がない。
- ・ あまりよく知らない
- ・ 千葉だけではないのですが、IT(ICT)に関しては、基礎からしっかり教えるような、真のITエンジニアを育成するような教育ができているところが全く無い。小学校・中学校・高校・大学・専門学校・ポリテクなどの教育機関など、とにかくどこもかしこも教え方が酷すぎです。教える側の知識が足りてないこともあります。今よく使われている言語を かじる程度教えたってプログラムが作れるようには到底なりませんし、時間とお金の無駄です。ですので、IT教育を正しく行えるような教育の形、教育機関の創設を是非お願いしたいです。弊社にはテキストとノウハウがあるのでご協力はできます。
- ・ 新卒とあまり年齢の変わらない人材が居るのであれば、第二種電気工事士程度の資格でも良いので、求人に応募して頂きたい。(施工管理の会社の為、最終的には、1級電気工事施工管理技士を取得して仕事をして頂く為。)年齢が上がってしまいますと、中途採用扱いとなり、現場経験者の求人となります。
- ・ 県において、いつ何が行われるかについて、広く 広告して欲しいです。
- ・ 警備業に関わる訓練があれば連携を図りたい。
- ・ 当社の業務には特にエンジニアを必要としないためご協力に添えずすみません。
- ・ 当社のメイン業務に役立つ職業訓練がない。章句業訓練を受けている方の中で別業種についてもいい方がいたら紹介してもらえそうな仕組みを作ってほしい

- ・ ソフトウェア開発のプログラマー、システムエンジニアの育成に力を入れて欲しい
- ・ 若い人材が塗装に係る仕事をする人が減っている。もっと興味、魅力を感じてもらえるようになって欲しい。
- ・ 人材は慢性的に不足しています。仕事柄やる気のある若い方がいれば採用したいですし、資格取得もバックアップします。
- ・ 慢性的な人不足で困っております。ライフラインに携わる仕事に人が集まらないことが寂しいです。
外国人労働者を採用している企業もたくさんあるようですが一企業が積極的に取り組むには難しすぎます。是非、日常に密接に関わる配管工や現場代理人さんを訓練できるカリキュラムが欲しいです。
- ・ 調査結果の具現化
- ・ 2020 年小学校でプログラミング必修化,2021 年中学校でプログラミング必修化,2022 年高等学校でプログラミング必修化となり小中高+ちばテク各校と教育内容を連携してほしい
- ・ 土木建設系の科もありますと良いと思います。
- ・ ライフラインである上水道に関する技術訓練が無い。技術者が育っていないことは、震災等の際、復旧を遅らす事となります。行政が強く関わるならば、このような業界の訓練・講習を設け、技術者を増やす努力に協力頂きたい。
- ・ 最近知りました。今後利用を検討したいと思います。
- ・ DMでご案内を頂いておりますが、内容を拝見すると講習日程が迫っている時が度々あります。
メールでの配信は行われていないのでしょうか。又、セミナーにリモート講習のような在社・在宅で受けられるようなものはありませんでしょうか。作業場を離れて講習に行く事が難しくなっており、空いている時間で講習が出来るようにして頂けると助かります。
- ・ 建設現場の方は、日曜、祝日のみが休みの現場が多い為、平日の受講は難しいです。
- ・ 建設技術に関する必要な資格は増えるばかりだが、それに対応できる取得環境が不足している環境ではないか。千葉県内での受講機会が年に一度のみや半年に一度など、少ないために県外に取得に行かなければならない資格等もあり、不便に思う。
- ・ 職業訓練校の在籍の方にハローワークさんで募集をさせていただいているが中々応募がない。工場見学して頂けると少しは魅力的に感じてもらえて採用に繋がるかもしれないです。
- ・ さつまいも問屋の子会社でございます。3年ほど前から農業に参入いたしました。現在は20haの面積にてさつまいもの生産をおこなっております。このご時世もあり新卒問合わせが予想以上に増えました。職業訓練の中に農業も検討していただけると幸いです。

- ・ 職業訓練校は大変いい事だと思います。手に職を持つ事は素晴らしい事だと思います。私共、建設業の鉄筋工事に携わっておりますが若い方々からは避けてしまわれる職業であります。今後の物づくりに於いて次世代の方々がいなくなってしまうことが大変不安に思います。特殊な作業に携わってくる若い方々を育成していく職業訓練校が一つでも多くできることを希望しております。
- ・ 左官技術科の増員を希望します。
- ・ 訓練を受ける場所が近隣なら、もう少し活用したいと思います。
- ・ 在職中に講習に参加して今まで出来なかった仕事ができるようになるような事があれば素晴らしいと思います。
- ・ 企業との接点をどのようにつなげていこうと考えているのでしょうか。
- ・ 建築現場での仕事かつ一人で動くことも多く、障害者では目が行き届かなくなるので難しいと思う。障害者ではないが発達弱者っぽい人を雇ってはいるが、雑工として複数人数の必要な時以外は仕事が無い状況。
- ・ 我々建築設備業界は、近年の新型コロナウイルスの感染防止の影響により、非接触設備や換気設備等が注目され、その重要度は以前よりも増しています。にもかかわらず、人材は常に不足している状況です。これからも我々の業界に積極的に人材確保、教育訓練にアドバイスをいただきたいと思います。
- ・ CAD や空間デザイン、建築士取得の土日の講座があるならば参加してみたいと思います。
- ・ 情報がうまく届いていない。
- ・ 房総半島、特に館山南房総鴨川からは船橋や東金は遠い。現状、特定感染対策で大学を始め教育期間や民間企業ではオンラインでの会議やセミナー受講が根付き始めている。実技があるものは仕様が無いが、可能なものは全てオンラインセミナーも同時受講できるようにしていただきたい。
もしくは南総地域をターゲットとした拠点を開校していただきたい（木更津以南）
- ・ もっと増やして欲しい
- ・ 職業訓練はもちろん大切ですが、その前に個人のやる気、責任感、判断の正確さ、物事に対する尊敬の気持ち。など等が必要と思う。
- ・ 良い取り組みだと思います。
- ・ 弊社は電気工事業ですが、せっかく学校で勉強するなら、時代に沿った新しい工具を使用して教えてあげて欲しいです。
- ・ このような人材育成機関は、少なくとも各市町村に1か所程度は作り、雇用と産業の発展につなげていければと思います。

- ・ 建設業の中でも足場の経験がある方は非常に少なく、求人を行ってもなかなか応募数が無いのが現実です。ホワイトカラーの会社と比べて、福利厚生等が充実していないことも事実ではあるとは思いますが、学校の成績等は関係なく、経験と知識、お客様への気配り（マナー）で足場の技術は向上します。もし、手に職をつけて生活したいのになかなか採用されないという方には非常にマッチした職業だと思います。つきましては、足場に関する職業訓練もいれてくださると嬉しいです。
- ・ コロナの影響がだいぶ響いてきた。今は我慢の時だが抱えている従業員だけはしっかり守りたい
- ・ 実施セミナーについて、様々なコースが行われていることを知りました。
- ・ 2年ほど前に鎌取の訓練校へ何度か見学させて頂き。採用職種に合う方の紹介をお願いしましたが、採用実績はがありません。今後も柔軟的に募集は行う予定。
- ・ 弊社は人材派遣会社です。職業訓練を受けた人材の求職はほとんどありません。仕事内容は多岐に亘り求人を受けておりますが、残念ながら少ないのが実情です。勤務体系も直接、間接雇用に拘らず、働く先はたくさんあるのですが・・・。
- ・ 建設業関連の実務的な講習をお願いしたい。
- ・ 土木工事に関係する訓練はないように思います。
- ・ 建築設備関連のセミナーを行って欲しい。今後建物の改修・更新工事の増加が見込められるため。また建築物の維持管理に必要な技術者の養成が必要。
- ・ 千葉県南部の方でもセミナーを実施して欲しいです。
- ・ 必要性がわからない。
- ・ 今回の案内で初めて知った部分があるので、人材募集に関するいろいろな案内を教えてください。ただ、セミナー案内を確認したところ 当社の希望するセミナーがない。
- ・ 既存社員のスキルアップのための研修（問 16-2）があればぜひ受講させたいが、現在そのようなものを受講できる機関がないので、作って欲しい。
- ・ ダンプの誘導など軽作業もあるので軽度の障害なら仕事として可能化もしれません
- ・ 現在、商業高校等へ求人票を出してはいるが、全く応募がない状況である。理由として、今の若者はゆとり教育の環境下で育ったので、年間休日が多く給与の支給額が多い企業へと流れていく傾向がある。また、離職率も非常に高い傾向にあることが昨今のニュースからも伺える。弊社としては、そのような方々を採用しても、定着するかどうか、正直なところ懸念材料の方が多いと感じている。
- ・ 恥ずかしながらサイトを見たことがありませんでした。初心者でも取り組めるのであれば、私も参加したいと思う内容です。（出来れば、初心者コースとか、〇〇を取得した人向きと

か、注記があれば参加しやすいかと) コロナで生き方を迷っている人に、広めてほしいです。必要なのは技術を自力で取得することだと思います。先ずはやってみる事で人は変わっていくと思います。

- ・ 看板製造・取付業務に若い人材が不足しています。募集しても長く続かないのが現状です。三年間は雇用助成等があると積極的に人材募集したいので何かあればお願い致します
- ・ このような案内が来ないとわからないので、定期的に案内をいただけると何かタイミングが合った時に活用できると思います。
- ・ 弊社では一昨年から船橋高等技術専門校の冷凍空調設備科の皆さまを招待して工場見学を行っています。工場見学を通して、学べる事も多くあるようです。企業との協働は職業訓練の質を向上させる有効な方法であると考えます。
- ・ ポリテクセンターでは、職業訓練を通じて再就職支援する事業として企業説明会を実施し、訓練生と企業のマッチングの場を提供しており、そうした事業やインターンシップ(就学体験実習)の機会を提供いただくことが訓練生・企業側ともに有益に思います。
- ・ 建設系が主な内容で、自動車関連が欲しいです。
- ・ 警備関連の職業訓練修了者であればぜひ雇用を検討したい。
- ・ 警備業法に基づく資格取得又は関連教育は、資格を取得後も各県の警備業協会が行う教育訓練・講習等への参加が義務付けられている。業種により技能が異なるため現在では専門学校での教育は当社では適合しない。
- ・ 弊社は土木設計の会社です。高齢社員が多く、経験豊富な人材は揃っているのですが、若手の人材がなかなか見つからないです。次世代のためには思っていますが、経営とのバランスが難しく、なかなか実行できていないのが現状です。業務は実際に作業しながら覚えていくのがベストだと考えています。とは言え、近い将来の問題なので取り組んでいきたいと考えています。
- ・ 人材育成については良いと思われる。
- ・ 橋梁設計及び現物管理をメインにしている会社です。興味があれば面接いたします。
- ・ 弊社は土木工事が主体なので、RC 構造物一連に関わる、訓練科があれば、土木・建築工事会社に若者の従事者が増える事を期待します。
- ・ 即戦力になり得る人材育成をお願いしたい
- ・ 教育分野を広げて欲しい
- ・ 情報系の技術セミナーを増やしてほしい。
- ・ 建設業に携わる人材不足 ・職業訓練、人材育成の実施。

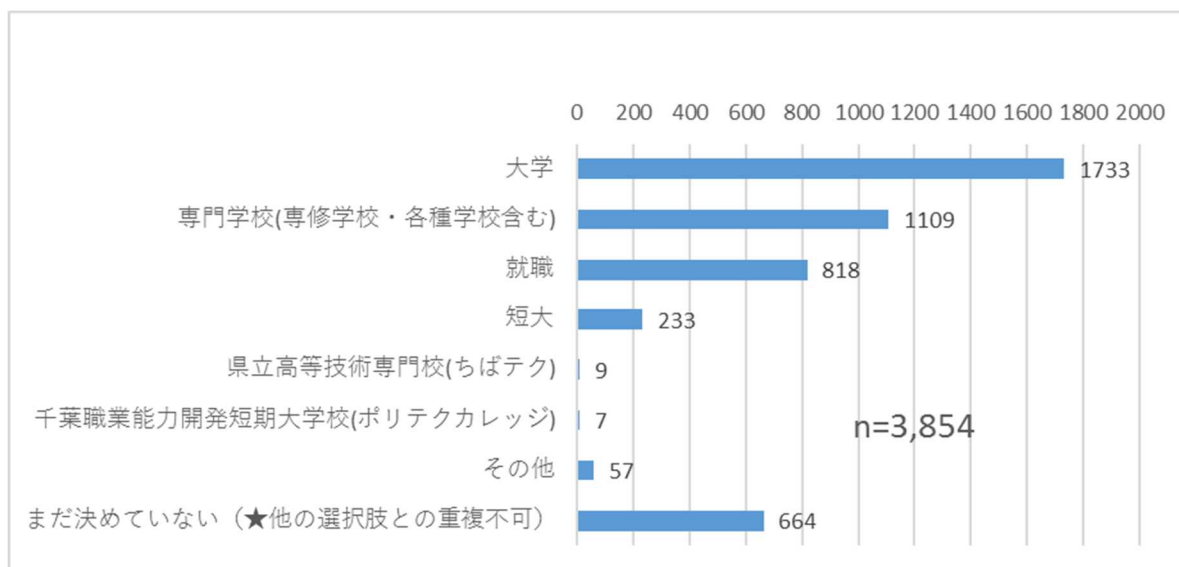
- ・ 一昨年度、新規学卒者の採用に初めて取り組みましたが、各高校の先生方より、「屋根のないところで働くことは敬遠される」と聞き、結果として全く問い合わせもない状態でした。弊社のような職種（建築配管）を先生方に認知してもらう事の難しさを感じましたが、同時に高等技術専門学校や高度ポリテクセンターなどでも教科として設備はないこともあり、学ぶ、認知度を広める機会がないことが悩みです。講習は民間企業（住友建機や佐倉クレーン学校）などに頼るしかなく、講習料も割高なので、できましたら業種職種を広めにご検討下さるとうれしいです。
- ・ 今日までご縁がありませんでしたが、今後は利用できるものがあれば、利用したい。
- ・ ちばテク市原校においては、臨海部の工業地帯にマッチしたセミナーをもっと多く開催していただけたら良いかもしれません。
- ・ 自動車運転免許が細分化し、費用もかかるので、大型自動車免許を個人で取得する若者が減っている。また、新型コロナウイルス蔓延で、現在の職種を変えて、転職しようと思っても、個人では経済的にも厳しいと思います。ぜひ、再就職支援策として大型自動車免許の取得ができる制度をご検討ください。（そういった制度がすでにあるのであれば、教えてください）
- ・ 景気悪化が続いているため新規採用の予定もなく、技術的なことより、就業環境等が若者が期待しているような現状ではないと思われる。大企業並みの理想を持たれているのではないかと不安です。
- ・ 機会があれば是非利用したいと思います。
- ・ お外の仕事は、夏・冬の大変さもあり嫌われる職業です。年配者が多く働いている業種ですが、実際の現場はお客様・一般通行者の安心安全を守ると言うことを担い、年配者では動ける範囲が決まってしまう難しいことも多いです。国は労務単価の引き上げなどを要請してきますが、実際の市町村が業者へ支払う警備員単価が安すぎて賃金値上げが難しいのが現状です。県・市町村内での警備員労務単価の見直しを行っていただければ賃金が上がり、暑くて寒く大変な仕事なのに給料も安いのであれば若者や家庭を持っている人からの応募を増やすことは不可能です。職業訓練より単価の見直しを要求したいです。
- ・ 機械工学や非破壊検査に関する2年程度の訓練科を作っていただけると、この業界に必要な即戦力となる人材を輩出することができると考えます。
- ・ いくら募集をかけても、そもそも応募がない。弊社の様な隙間産業は、最近流行のネット検索には不向き。入社して来た者の多くは、一体何の職業かも分からずに入社して来ている。一般認知度の低い職業故の悩みがある。
- ・ 弊社のような事業所に興味のある学生がいましたら、工場見学等を行いますので、紹介して欲しいと考えております。

- ・ パワハラ等、雇用側で問題になるケースがあるので、そちらの職業訓練も有ればよいかと思
います。
- ・ 自動車車体整備士は取得する機関があまりないようです。同業で関心のある雇用主は案外多
そうですが。
- ・ 弊社の仕事は、基本習ってできることがなく現場で教えていくものなので、新規印刷事業を
考えたときに、ある程度のスキルがあれば採用したいです。
- ・ QC 検定のセミナーや QC7 つ道具、新 QC7 つ道具など、不具合関係や知的財産、下請法、
営業秘密、ハラスメント研修（パワハラ、マタハラ、〇〇ハラ）など項目としては選べると
嬉しい。この時期ですと、新入社員研修（ビジネスマナー）を4月か5月に受講できれば
企業は助かるのでは？※今の世代は、携帯世代で固定電話で他の人に電話を回す事が無いの
で、社会人になり始めて電話対応をするため、難しいみたいです。新人、中堅、ベテランク
ラスで内容が違うため、講義内容を E-ラーニング や Web で見れたりすると復習もでき便利では
ないでしょうか？
- ・ 危険予知等の研修
- ・ 農業関連のセミナーも検討してほしい。
- ・ 県立高等技術専門校にコンクリート圧送施工技能士の育成コースを加えて頂きたいです。建
設業の中でもコンクリート圧送事業は必要不可欠ですが若者にはこの業界がまだ浸透してい
ない様に思います。学ぶ機会があれば職業の選択肢も増えますし若年層が雇用できればコン
クリート圧送業界の高齢化が抑えられると思います。
- ・ いつも色々な情報をご案内くださり、ありがとうございます。職人と呼ばれる肉体労働者が
守られる社会であって欲しいと思います。あまりに大きな話ですが、建設業に携わる身とし
て、切実に改善が必要な業界問題であると思います。職業訓練を受け、これからの建設業を
担っていく人材の方には、技術取得に価値をおくのではなく、「あなたの技術で助かる、喜
ぶ人がいる、それは誰しもの出来ることでは無い」と勇気づけてあげて欲しいです。ひとり
ひとりの仕事が尊いものであることを、かならず必要とされる場所があることを届けてあげ
て欲しいと思います。心身ともに疲れた社会で、それでも踏ん張る人を応援してあげたいで
すね。

第2章 高校生調査

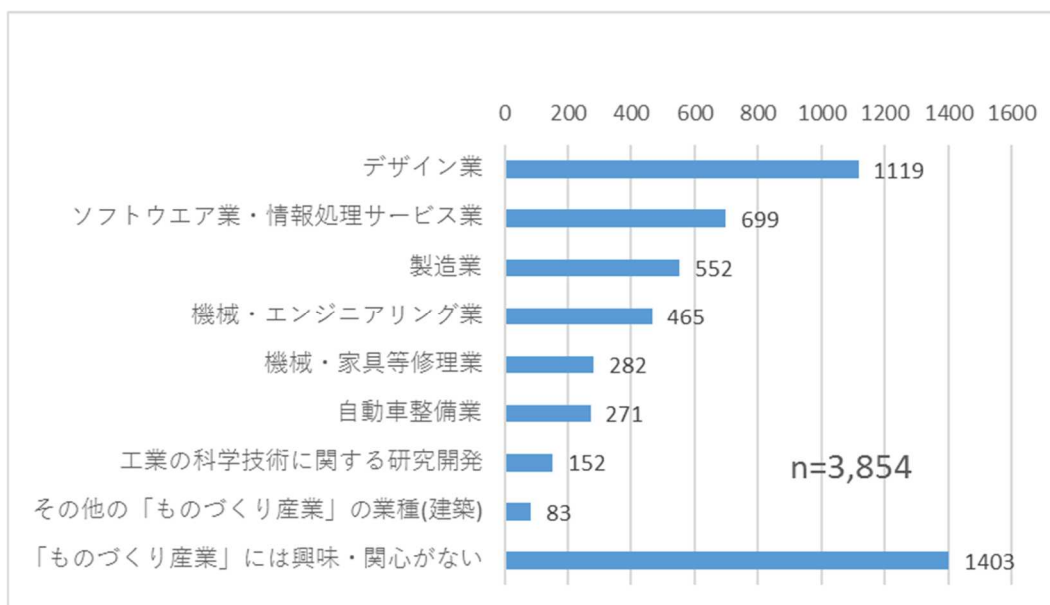
問1 あなたが希望している進路をお答えください。【複数選択可】

千葉県内の高校2年生の進路希望は、「大学」が最も多く、以下「専門学校（専修学校・各種学校を含む）」、「就職」となっている。



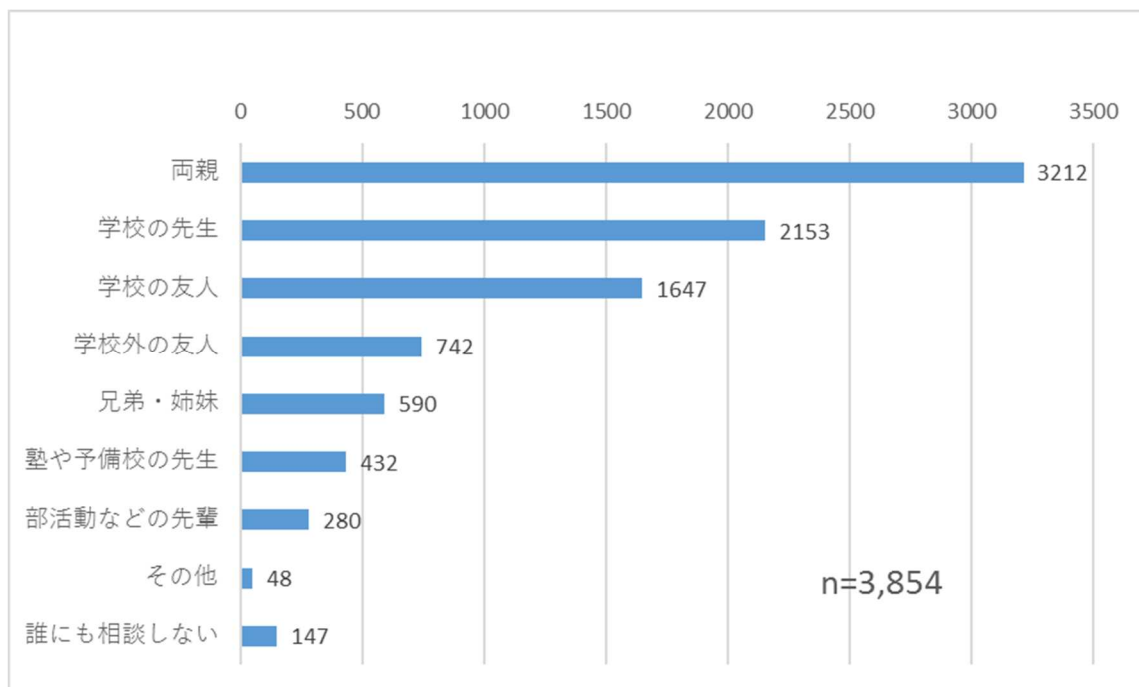
問2 若者のものづくり離れが進んでいると言われていますが、下記の「ものづくり産業」の業種のうち、将来の就職先として興味・関心のあるものを選んでください。【複数回答可】

将来の就職先としてのものづくり産業への関心を尋ねたところ、「ものづくり産業には興味・関心がない」が最も多く、「デザイン業」、「ソフトウェア業・情報処理サービス業」と続いている。



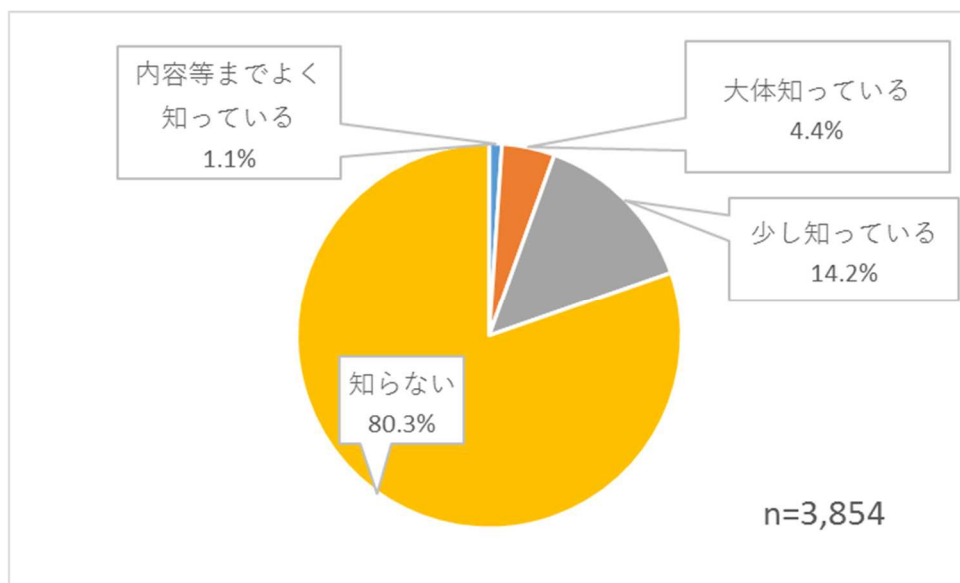
問3 あなたは、進学や就職にあたって、誰と相談しますか。【複数回答可】

進路の相談者については、「両親」が最も多く、以下「学校の先生」、「学校の友人」となっている。



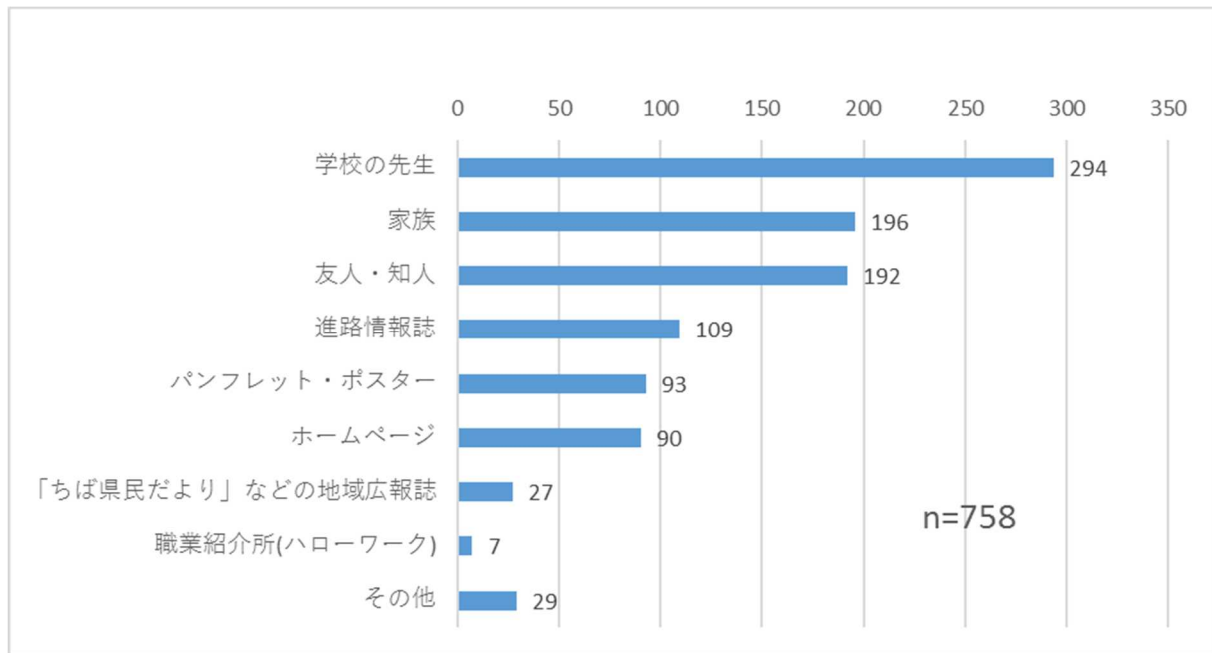
問4 千葉県では、新規学卒者等の方々が仕事に必要な知識や技能・技術を習得できる職業訓練施設として、高等技術専門校を運営しています。高等技術専門校を知っていましたか。

高等技術専門校の認知については、「内容までよく知っている」(1%)と「大体知っている」(5%)と「少し知っている」(14%)を併せた「知っている」は、20%となっている。一方、「知らなかった」が80%を占めている。



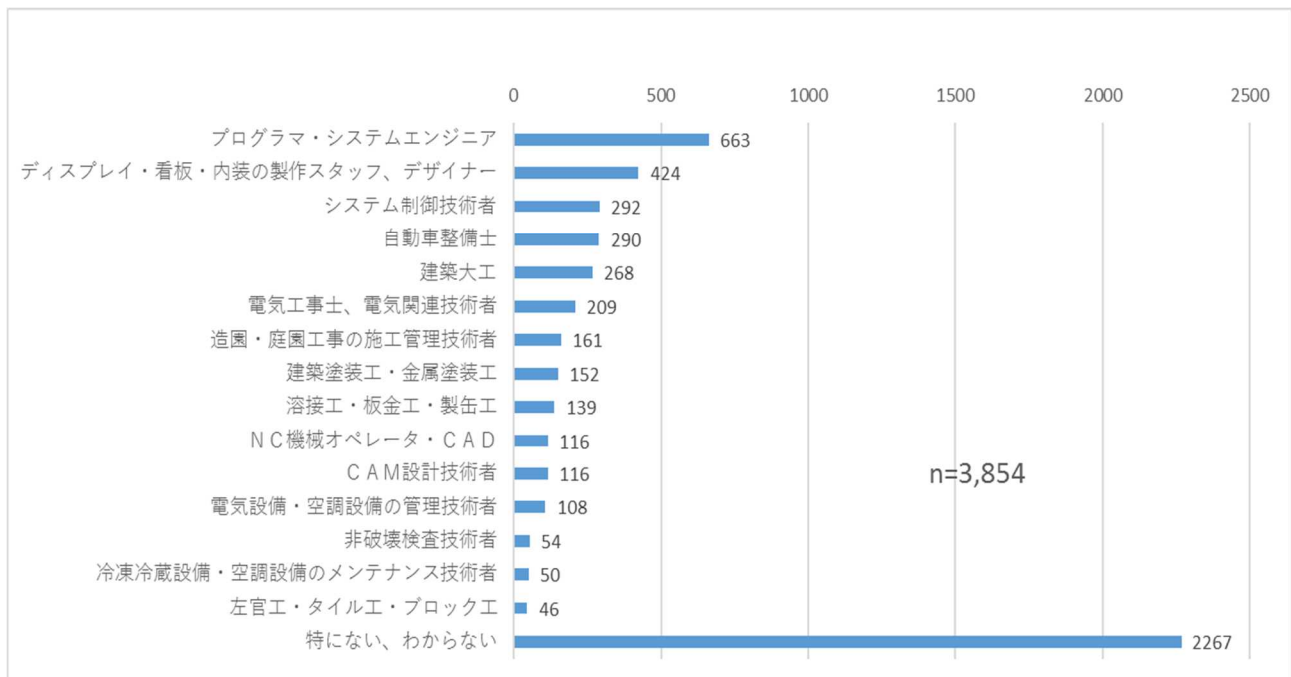
問5 あなたはどうやって、高等技術専門校を知りましたか。【複数回答可】

問4で「知っている」と回答した生徒に、高等技術専門校を知った経路をたずねたところ、「学校の先生から」が最も多く、以下、「家族から」「友人、知人から」の順となっている。



問6 興味のある職業を選んでください。【複数回答可】

高等技術専門校において訓練を行っている職種（職業）に係る興味・関心を尋ねたところ、「特にない、わからない」が最も多く、関心がある職業としては「プログラマ・システムエンジニア」、「ディスプレイ・看板・内装の製作スタッフ、デザイナー」、「システム制御技術者」の順となった。

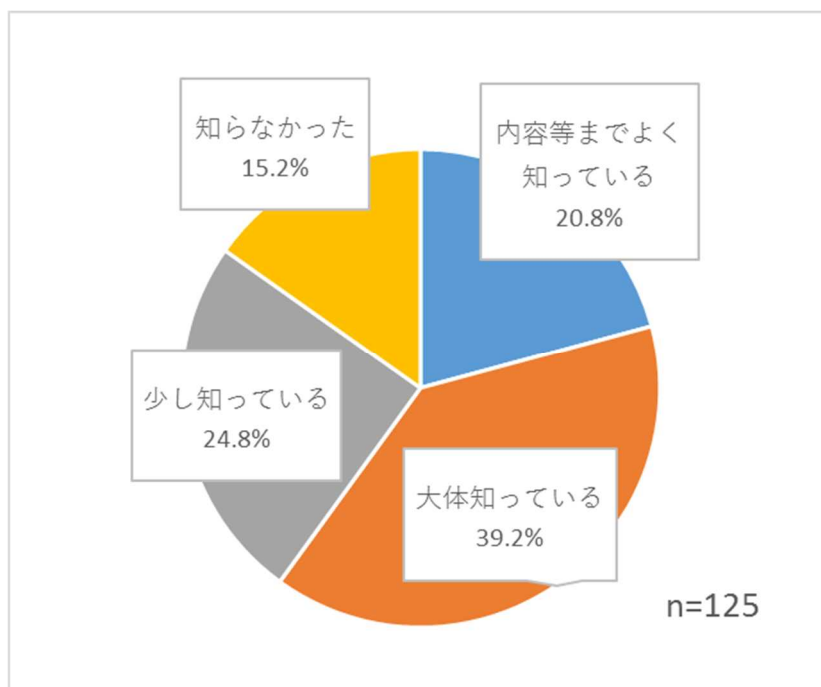


第3章 進路指導担当教員調査

問1 高等技術専門校を知っていますか。

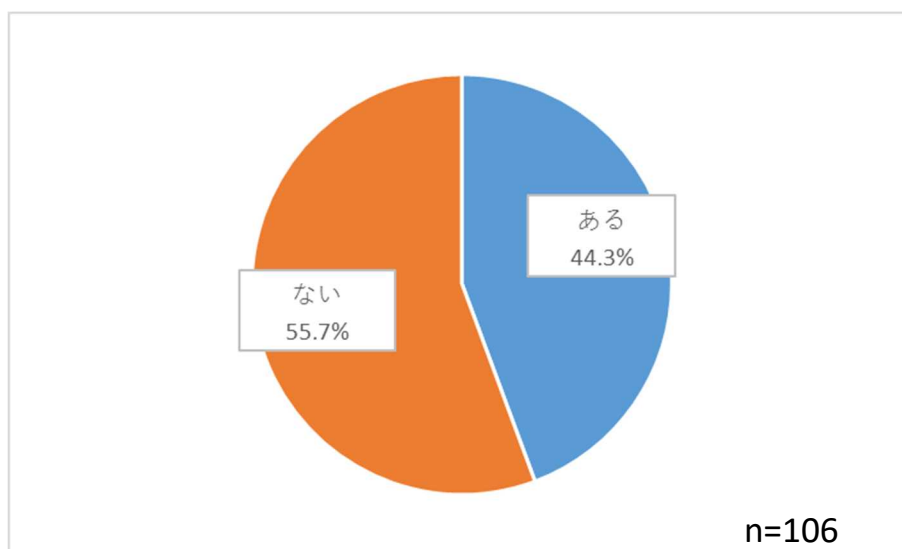
※高等技術専門校とは、新規学卒者等の方々が必要知識や技能・技術を習得できる千葉県が設置運営する職業訓練施設です。

進路指導教員の高等技術専門校の認知については、「内容までよく知っている」(20.8%)と「大体知っている」(39.2%)と「少し知っている」(24.8%)を併せた「知っている」は、74.8%となっている。一方、「知らなかった」が15.2%となった。



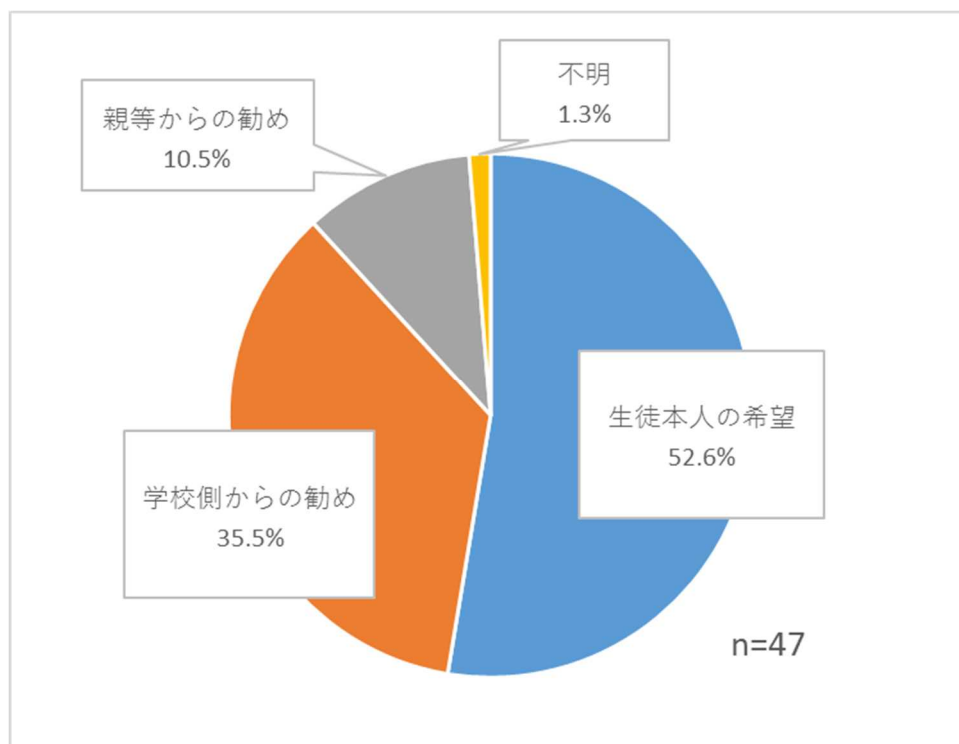
問2 高等技術専門校に入校させたことがありますか。

問1で「知っている」(「知らなかった」以外)と回答した教員に、高等技術専門校へ生徒を入校させたことがあるかをたずねたところ、「ない」が55.7%、「ある」が44.3%となった。



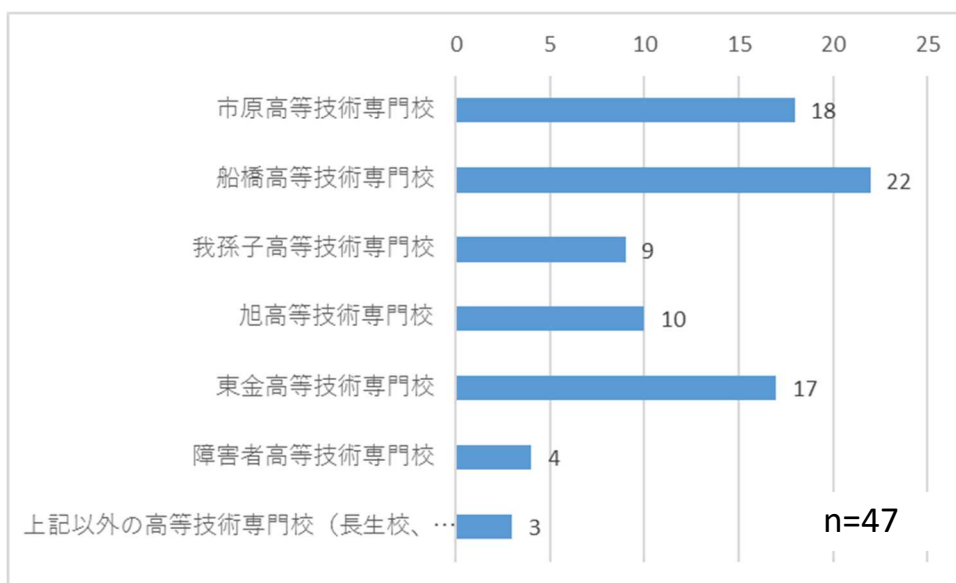
問3 生徒を入校させたことがある場合、どのような経緯ですか【複数回答可】

問2で「ある」と答えた教員に、入校までの経緯をたずねたところ、「生徒本人の希望」(52.6%)が最も多く、次いで、「学校側からの勧め」(35.5%)となった。



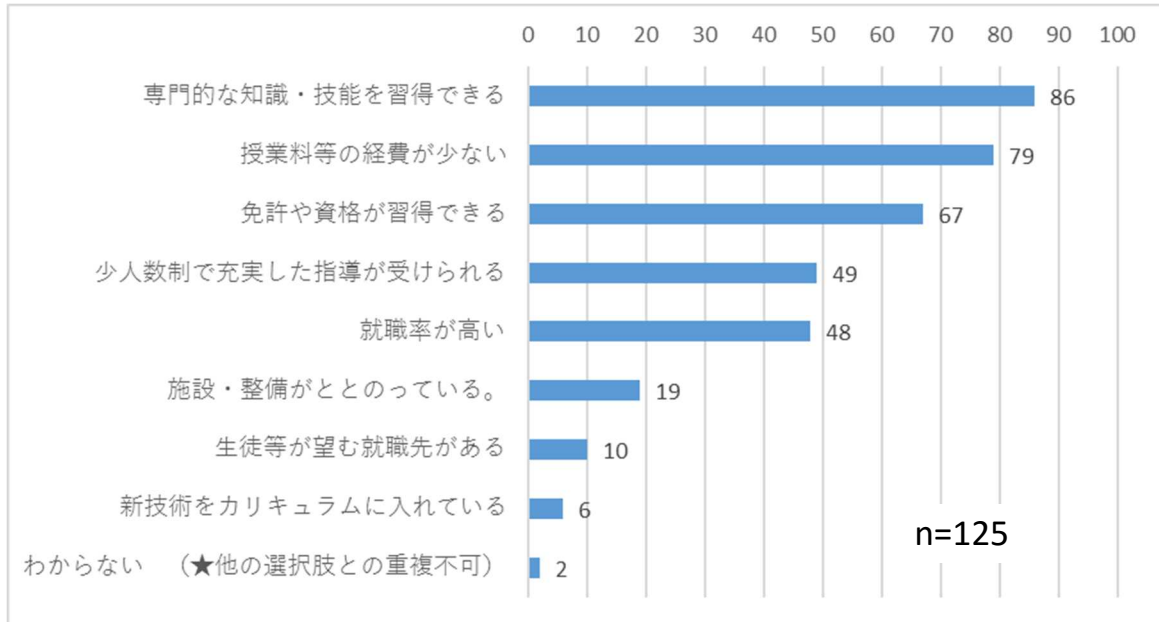
問4 生徒を入校させたことがある場合、どこの高等技術専門校ですか【複数回答可】

問2で「ある」と答えた教員に、どこの高等技術専門校に入校させたかをたずねたところ、「船橋高等技術専門校」、「市原高等技術専門校」、「東金高等技術専門校」の順となった。



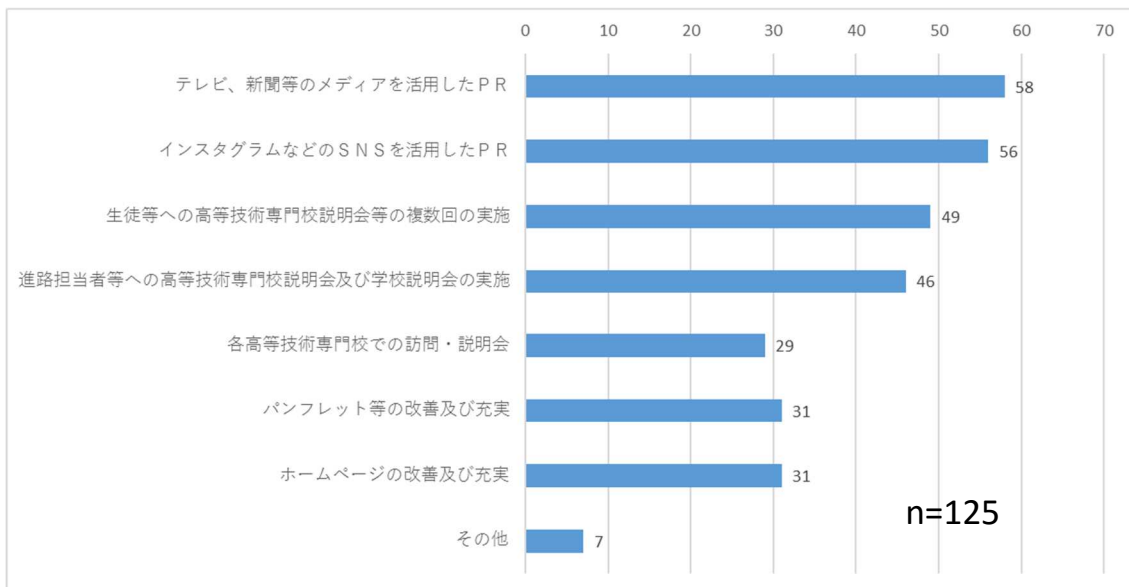
問5 進路先として、高等技術専門校にはどのような利点があると思いますか。【複数回答可】

問1で、「知っている」（「知らなかった」以外）と答えた教員に高等技術専門校の利点をたずねたところ、「専門的な知識・技能を習得できる」が最も多く、以下「授業料等の経費が少ない」、「免許や資格が取得できる」となった。



問6 高等技術専門校をより多くの方に知ってもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答可】

高等技術専門校の効果的なPR方法をたずねたところ、「テレビ、新聞等のメディアの活用」が最も多く、以下、「インスタグラムなどのSNSの活用」、「生徒等への高等技術専門校説明会の複数回の実施」となった。



問7 高等技術専門校について、意見・要望等があれば、自由に記載してください。

※回答順に掲載

- ・定員が多いわけではないので、私立専門学校に行く経済的余裕がない生徒に門戸を解放してほしいです。本当に必要な生徒が入校できる学校だということを高校の教員に周知してください。
- ・とても有意義な存在である技専ですが、先生方の勉強不足もあり生徒への案内が不十分であると感じます。
- ・高校生が気軽に質問したり見学できるオープンキャンパスの機会を増やして頂くと良いかもしれませぬ。
- ・地道に頑張っているイメージだが、このコロナ禍での就職状況等で現役高校生にアピールできるのであればもっと積極的に広報活動を行った方がよい。
- ・高校生にその存在があまり知られていないように思います。周知に力を入れてもらえたら、ありがたいです。
- ・ホームページの改善は早急に行ったほうが良いと思います。卓越したカリキュラム、教員陣がありながら、生徒にあまり知られていなくてもったいないなとも思います
- ・市原技術専門校には、大変お世話になっております。特に就職希望者には基礎的資格取得で感謝しています。
- ・ほぼ毎年、複数名の生徒がお世話になっています。経済的な理由で進学が困難な生徒にとっての専門知識・技術習得の貴重な場として活用させていただいております。今後の一層の教育内容の充実を期待しています。
- ・前任校の船橋法典高校では、多くの生徒がお世話になりました。
- ・高校生とその保護者に認知してもらうのが最初だと考えています。高校での進路ガイダンス等へ参加していただくなど、高校現場でご協力できることは結構ございます。一緒に考えてまいりたいと思います。
- ・存在自体の理解ができていませんでした。申し訳ありません。以降情報を集めたいと思います。
- ・我々進路指導部の教員はともかく、一般の方々には設置されている学科がわかりにくいように感じています。工業ならば自動車整備や建築など小学生でも理解できる単語がほしいです。またどの学校にどの学科が設置されているかもわかりにくいので明示して欲しいです。他にも人生100年時代と言われている現在、再就職に向けて希望すれば何歳からでも入学できるなど、あらゆる方向から間口を広げてみてはいかがでしょうか。

- ・学校案内を郵送していただいています。生徒が閲覧できる資料室に置き、進路指導で参考にさせていただいております。
- ・生徒や保護者へのPRの機会を増やし、知名度を上げる必要があると思います。説明会や体験学習の回数を増やすことに加え、教員向けの説明会の実施が肝要かと考えます。
- ・専門的な技能が身につけられることに加えて、学費が安いので経済的負担も少ない点が魅力的だと思います。
- ・学びの内容の拡充は検討なさっていますか
- ・専門学校との差異を明確にPRするのが重要だと思います。
- ・その存在を知らない教員が多すぎます。上記のような活動を地道に継続していくしかありません。個人的には高等技術専門校を高く評価しております。今後ともよろしく願い申し上げます。
- ・認知度が低いと思いますので、それを上げる工夫が必要かと思っています。
- ・高等技術専門校に対する生徒、保護者の認知度が低い。認知していたとしても「失業者が通う所」というイメージが根強く、勧めてもいい顔されることがある。資格が取得でき、授業料が安く。就職もいいということをもっとアピールした方がよい。学歴が専門卒にならないところも生徒に人気でない理由の一つだと思う。
- ・お世話になっております。授業料等の経費が安いと、家計の負担の面でとても助かっている家庭が多いです。東金技専は駅から遠いため、通学範囲が限られてしまうかと思っています。
- ・経済的に厳しい状況にある家庭の生徒達が進学を考えたとき、技術専門学校は大変有り難い学校です。技術を習得したり、資格を身につけて世の中に出ていくために、生徒や保護者に勧めることが出来る学校です。
- ・先日は説明会に参加させていただき、大変参考になりました。ありがとうございます。
- ・ここ数年、就職するよりは資格取得を目指して進学したいという生徒が多くなってきています。しかし、経済的問題で家から離れて一人暮らしも難しく、そういう点で高等技術専門校へのニーズは年々高まってきています。生徒の専門校認知度はまだまだ低く、専門校の近くに住む生徒以外は、ほぼ教員の勧めにより進学しているのが実情です。

千葉県 の職業能力開発の推進に係る

アンケート調査

令和3年7月発行

【発行】 千葉県 商工労働部 産業人材課
〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1
電話 043-223-2754
